

音楽サロン

A PIACERE in 豊田



URAYAMA

JUNKO

浦山 純子 ピアノリサイタル



~~~~~プログラム~~~~~

ショパン: バラード 第1番 ト短調 op.23
ノクターン 第5番 嬰へ長調 op.15-2

柏木俊夫: 『芭蕉の奥の細道による
気紛れなパラフレーズ』より

「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」
「あらたふと青景若景の日の光」
「五月雨の降りのこしてや光堂」
「散る柳あるじも我も鐘を聞く」
「荒海や佐渡に横たふ天の河」

☪ 休憩 ☪

ラフマニノフ: ヴォカリーズ op.34-14
ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

~~~~~

やむをえない事情により、曲目が変更になる場合がございます

# 2012 6/10 (日)

## 開演14:00 開場13:30

主催及び会場 **アピアチェレ in 豊田**

豊田市浄水町原山335-3

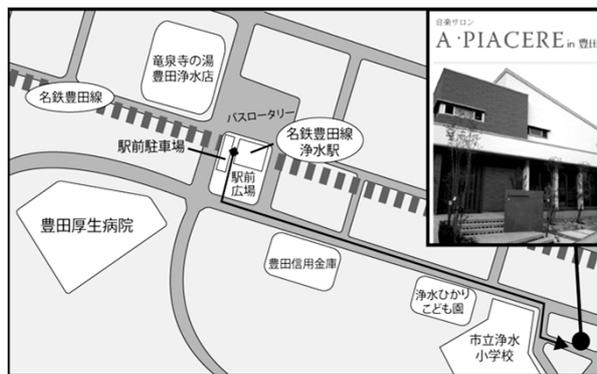
HPアドレス <http://a-piacere.jp/>

後援: 榊河合楽器製作所中部支社  
: 積水ハウス名古屋シャウッド住宅支店

当日 ¥4,000 / 前売 ¥3,500

【チケット取り扱い・お問い合わせ】

アピアチェレ in 豊田 090-4233-3445(吉田)  
カワイ名古屋 052-962-3939



\*\*地下鉄鶴舞線(名鉄豊田線)「浄水」駅下車 徒歩7分

### 浦山純子 プロフィール

4歳よりピアノを始め、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院に留学。1995年ラジヴィウ国際ピアノコンクール優勝、及び最優秀ショパン賞(ポーランド)、1998年ポリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)をはじめとする数々の賞を受賞。1996年よりロンドンを本拠地とし、名門ウイグモアホールにてデビュー。ヨーロッパ各国でソロリサイタル、コンチェルトから室内楽に至るまで幅広く活動し、2002年には、ウラディミール・アシュケナーズ指揮フィルハーモニア管弦楽団とグリーグのピアノ協奏曲を共演。同年フィルハーモニア管弦楽団に再び招かれ、チチェスター音楽祭にて演奏。2005年秋より東京に拠点を移し、銀座・王子ホールにてデビュー。雅楽師・東儀秀樹氏とのジョイントコンサート、ホロヴィッツのピアノによるスタインウェイ・ガラコンサート、お話音楽館など、多彩な企画を含めた演奏活動を展開中。スタインウェイ・ジャパン(株)の“Young Virtuoso Series”のアーティストとしても全国各地でコンサートを行うほか、国内外で教育・福祉関係のためのチャリティ活動にも力を入れている。

また、2009年よりスタートさせたリサイタル・シリーズ「心の旅への誘(いざない)」は、「奥の細道」から着想された『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』を取り上げる独創的な企画として注目を集めている。

今年2012年6月には、念願であった本作品の全曲録音CDとして(VOYAGE ヴォヤージュ)をソニー・ミュージックダイレクトより発売。CDはこれまでに、2003年(Piano Recital ピアノリサイタル)、2005年(Fantasia ファンタジー)、2007年(Soiree ソワレ)(いずれもイギリス・シンフォニカレコード)をリリースしている。

浅野繁、奥村洋子、故・安川加壽子、アンジェイ・ステファンスキ、スラミタ・アロノフスキ各氏に師事。スタインウェイ・アーティスト。